

環境のあらまし

環境影響評価項目の選定

横浜市環境影響評価条例に基づき、現況調査、予測および評価の項目を以下のように選定。

環境影響評価項目	供用・存在時	工事中
大気汚染	—	○
水質汚染	—	○
騒音	○	○
振動	○	○
地盤沈下	—	○
廃棄物・発生土	○	○
水象	○	○
地域社会	—	○
景観	○	—
文化財	—	○
安全	—	○

調査・予測位置図

一 騒音 一

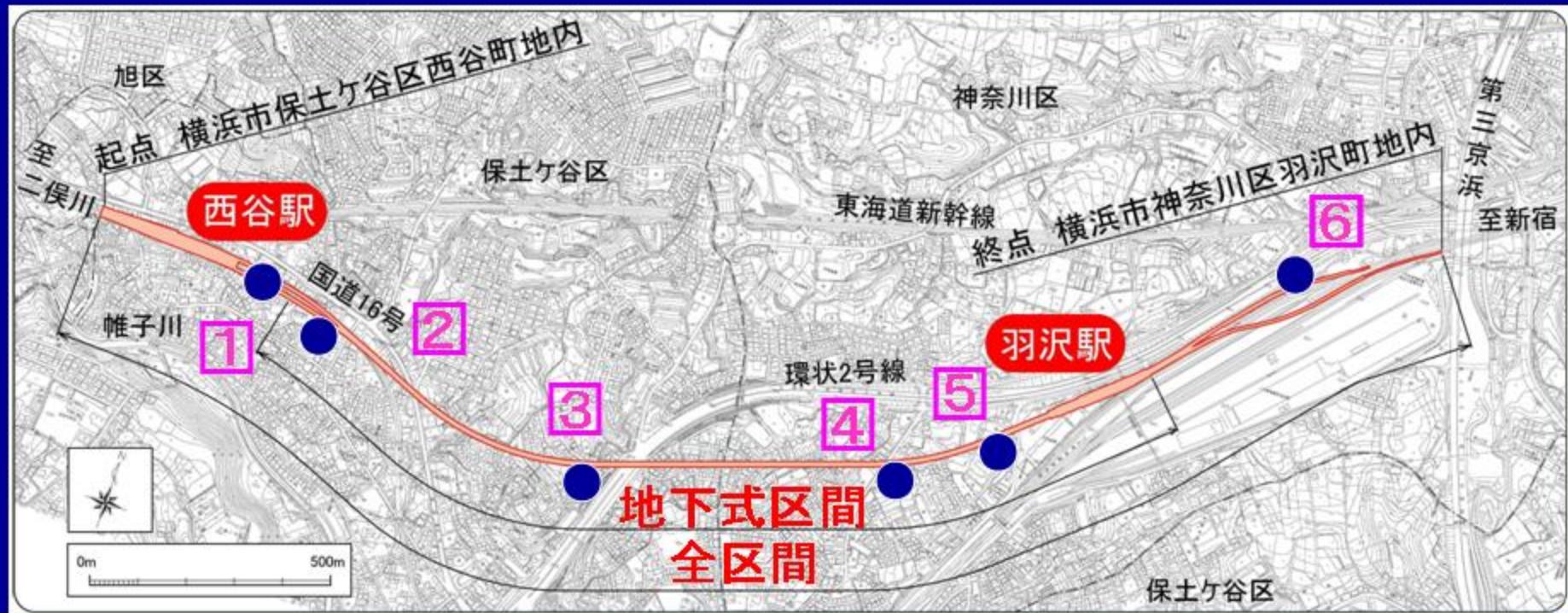


凡 例

- 鉄道騒音調査・予測地点
- 現地調査地点番号
- ① 予測地点番号

調査位置図

—振動—



凡例

● 振動調査地点

① 現地調査地点番号

予測位置図

— 振動 —



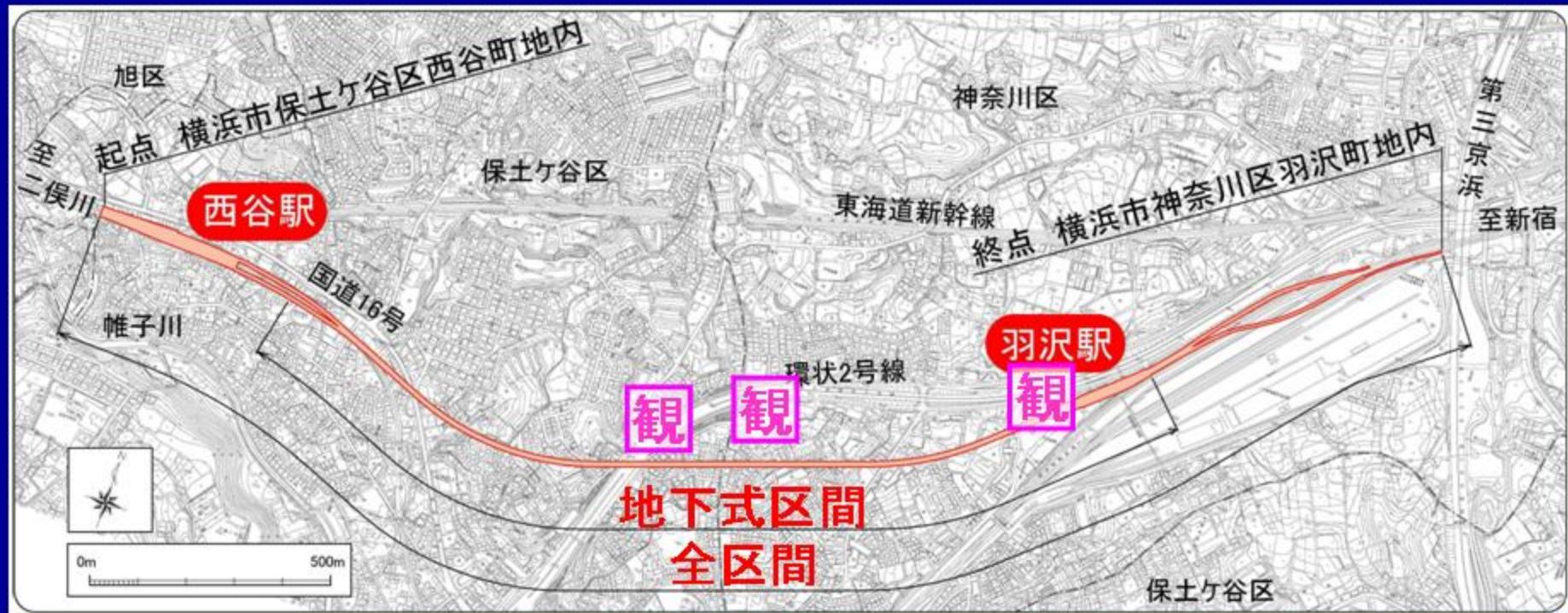
凡 例

● 鉄道振動予測地点

① 予測地点番号

調査地点

— 地盤沈下 —

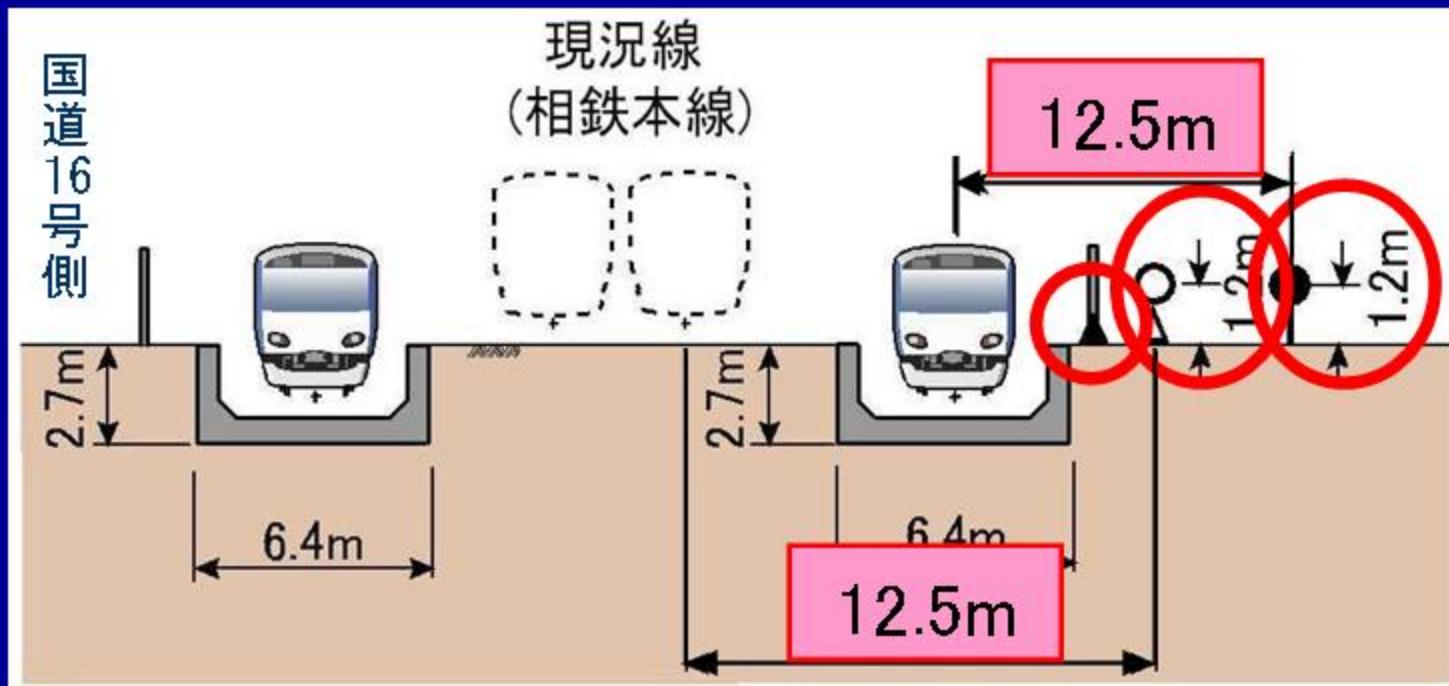


凡 例

観 地下水位観測井

調査・予測位置断面図

① 保土ヶ谷区西谷町

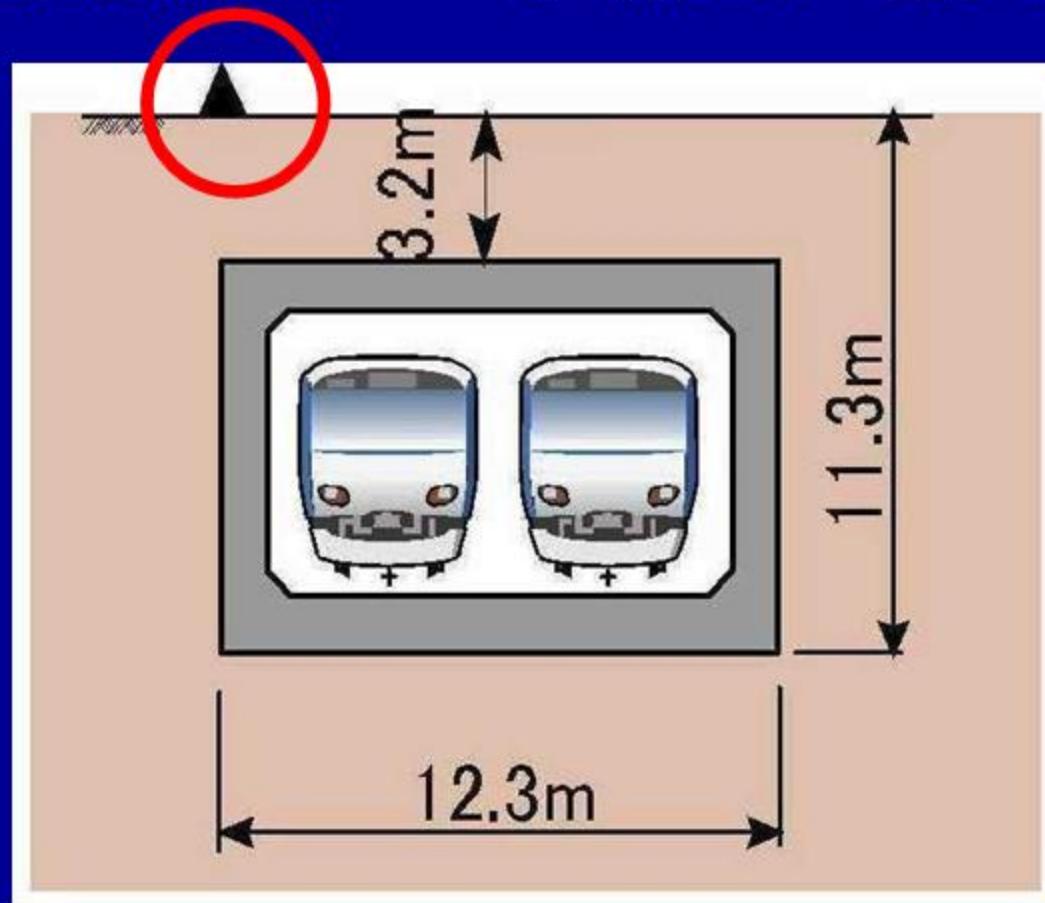


凡例

- 鉄道騒音予測地点(高さ1.2m)
- ▲ 鉄道振動予測地点(地盤上)
- 現況鉄道騒音調査地点(高さ1.2m)
- △ 現況鉄道振動調査地点(地盤上)

予測位置断面図

② 保土ヶ谷区西谷町

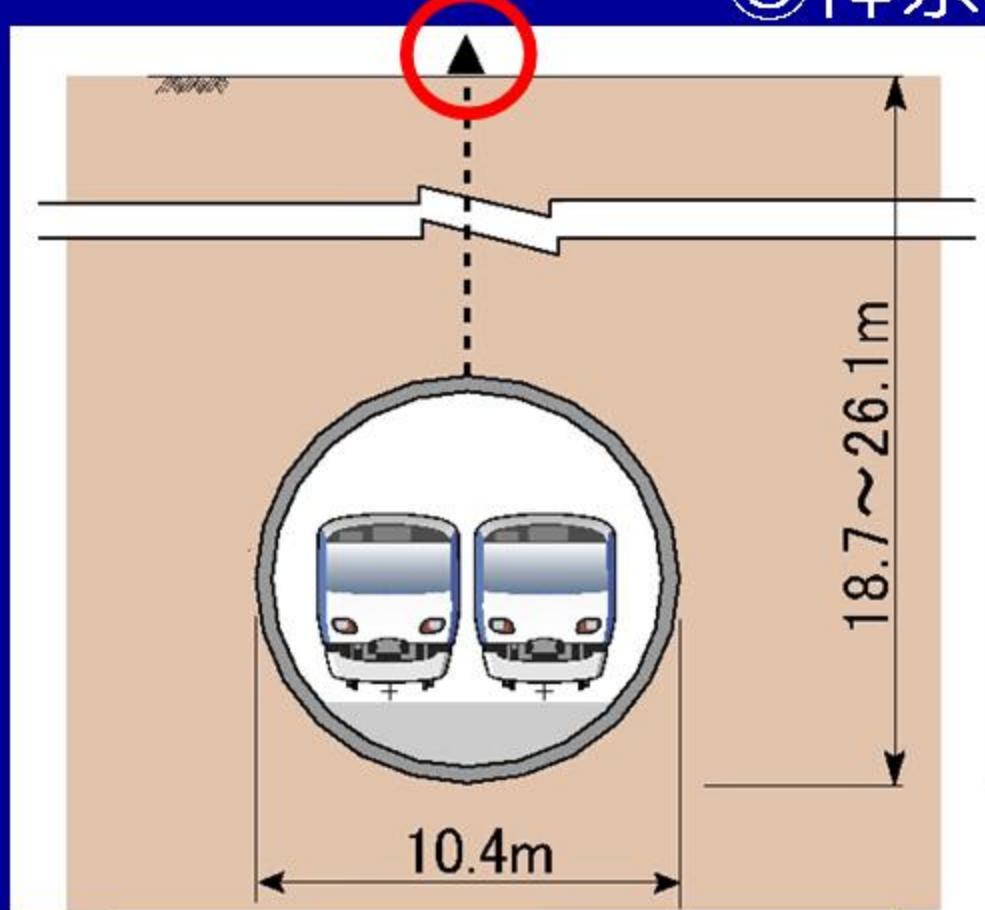


凡例

▲ 鉄道振動予測地点(地盤上)

予測位置断面図

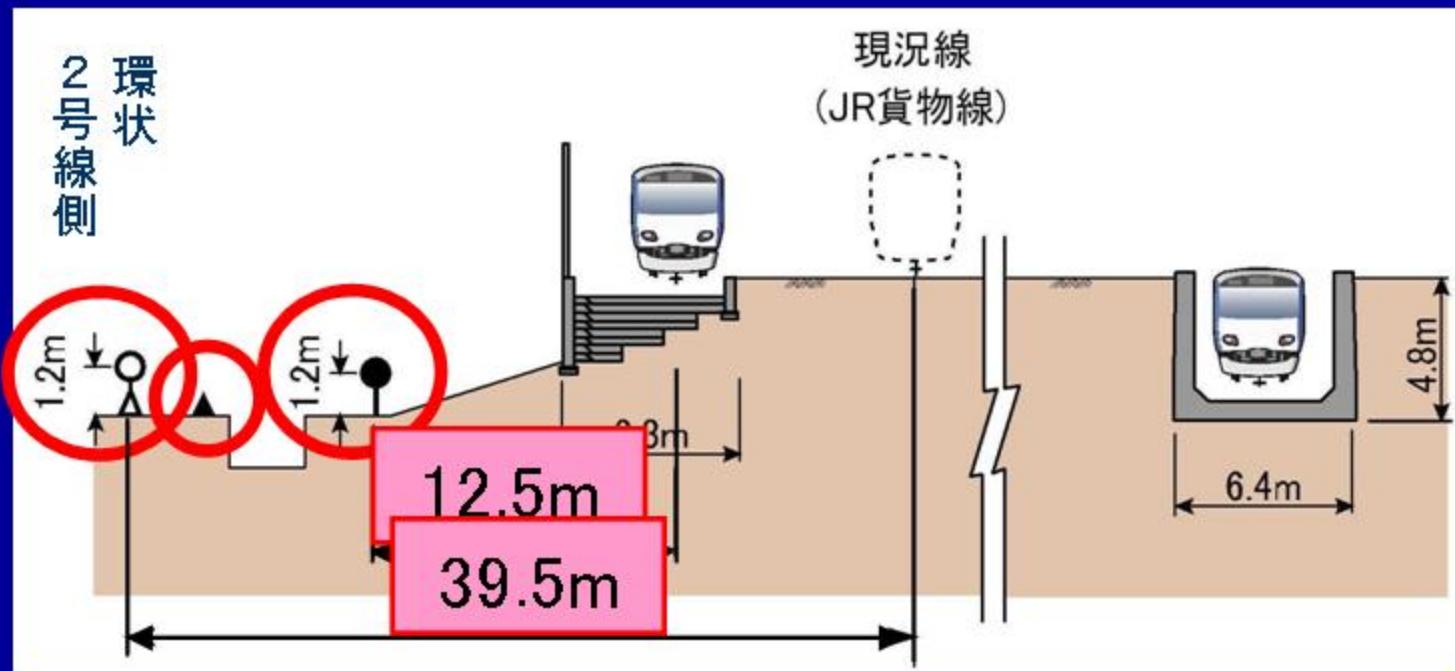
- ③保土ヶ谷区西谷町
- ④保土ヶ谷区東川島町
- ⑤神奈川区羽沢南二丁目



凡例

▲ 鉄道振動予測地点(地盤上)

調査・予測位置断面図 ⑥神奈川区羽沢町



凡例

- 鉄道騒音予測地点(高さ1.2m)
- ▲ 鉄道振動予測地点(地盤上)
- 現況鉄道騒音調査地点(高さ1.2m)
- △ 現況鉄道振動調査地点(地盤上)

騒音 現況調査結果

単位：デシベル

調査地点	鉄道騒音レベル (L_{Aeq})	
	昼間	夜間
① 保土ヶ谷区西谷町	66	60
⑥ 神奈川区羽沢町	46	47

騒音 予測及び評価

単位：デシベル

予測地点	鉄道騒音レベル (L_{Aeq})	
	昼間	夜間
①保土ヶ谷区西谷町	57	54
⑥神奈川区羽沢町	44	41

環境保全目標	
昼間	夜間
60	55

環境保全目標を下回ります

※ 予測：計画路線のみを対象

振動 現況調査結果

単位：デシベル

調査地点	環境振動レベル(L_{10})	
	昼間	夜間
② 保土ヶ谷区西谷町	40	31
③ 保土ヶ谷区東川島町	30	27
④ 神奈川区羽沢南二丁目	38	33
⑤ 神奈川区羽沢南二丁目	38	33

調査地点	鉄道振動レベル(L_p)
① 保土ヶ谷区西谷町	67
⑥ 神奈川区羽沢町	56

振動 予測及び評価

単位：デシベル

予測地点	予測結果	環境保全目標
① 保土ヶ谷区西谷町	63	
② 保土ヶ谷区西谷町	63	
③ 保土ヶ谷区西谷町	54	65
④ 保土ヶ谷区東川島町	51	
⑤ 神奈川区羽沢南二丁目	51	
⑥ 神奈川区羽沢町	51	

環境保全目標を下回ります

地盤沈下 現況調査結果

「平成17年度横浜市地盤沈下調査報告書」
(平成19年2月横浜市環境創造局)



計画路線周辺の全域において、
地盤の状況についてはほとんど
変動していないと考えられます。

地盤沈下

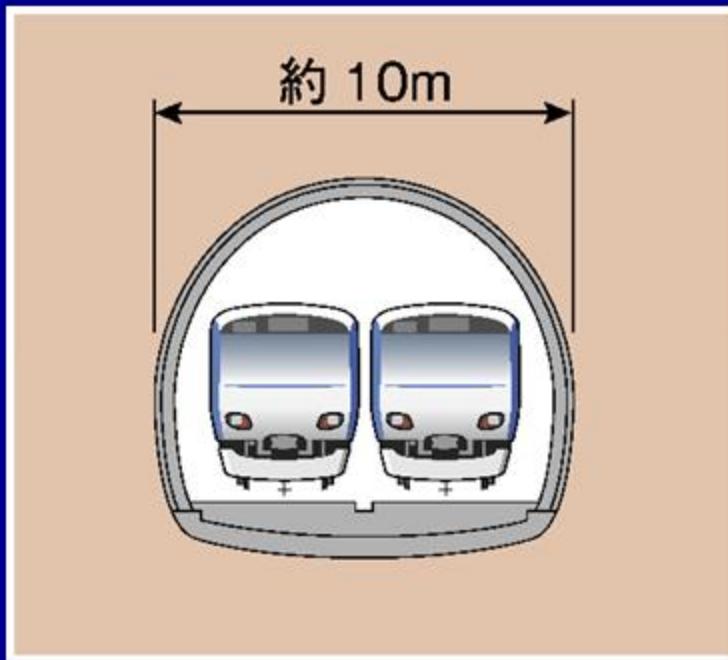
- ・ 詳細な地質や地下水位の調査を実施し、地域の状況に応じた適切な設計
- ・ トンネル掘削は密閉型シールド工法の採用
- ・ 必要に応じて止水性の高い土留壁や地盤改良など、適切な工法
- ・ 地下水位の観測や地盤の変状を計測し、適切な施工管理



周辺住居等に著しい影響を与えることはないと考えられます。

トンネルの工法

従来
NATM（ナトム）工法



より止水性が高い
密閉型シールド工法

